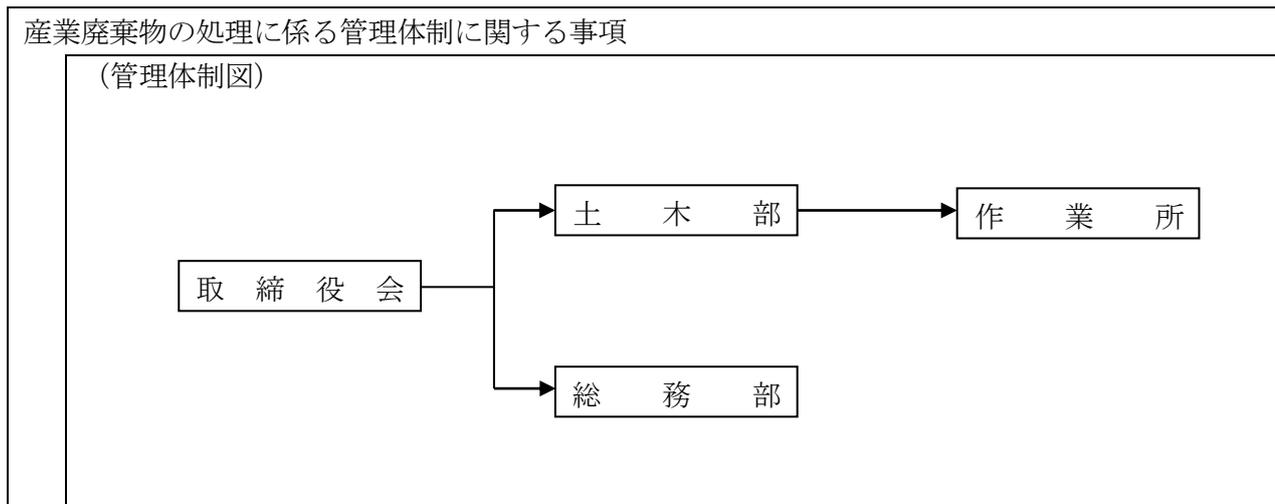


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
和歌山県知事 殿	
提出者 株式会社 尾花組 住 所 和歌山県田辺市上の山一丁目15-22 氏 名 代表取締役 谷口庸介 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0739-24-6410	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 尾花組
事業場の所在地	和歌山県田辺市上の山一丁目15-22
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	6 総合建設業
②事業の規模	元請完成工事高 627,667千円
③従業員数	37名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事→分別→がれき類・木くず→保管→再生処理



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1331.78 t	1653.5t
	(これまでに実施した取組) 受注によって大きく左右されるため、排出量を予測するのは難しいが過去数年の傾向や前年度の受注高を基にして推計する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1500 t	1000 t
	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取り組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・木くず別に保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでに実施してきた取り組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1331.78 t	1653.5 t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理した後、再利用した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1500 t	1000 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理し、利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（           年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

